



このはなウォークの会場となる五ヶ瀬川右岸堤防。菜の花は例年より2週間早く咲き始め、桜はちらほら開花（きょう午前）



概要を発表する谷平実行委員長(中央)ら＝きょう午前、延岡市役所

延岡花物語

2月23、24日

このはなウォーク
のオープニングは本東寺の観梅会

延岡市の観光イベント「延岡花物語2019」は、2月10、11日の本東寺慧日梅（えにちばい）観梅会でオープニングを飾り、メインの「このはなウォーク」は同23、24日、ワイワイ花物語は3月22日～4月7日に開催される。きょう、延岡花物語実行委員会（実行委員長・谷平興二、延岡観光協会代表理事）が延岡市役所で会見し発表した。

早春に咲く梅、菜の花、桜、ツバキと一緒にステーションやグルメを楽しむ平成26年から始まったイベント。昨年はNHK大河ドラマ「西郷どん」放映の効果もあり、6万人超が訪れた。全体のイベント期間は2月1日～4月7日。オープニングイベントとなる観梅会は、本東寺境内にある樹齢230年の「慧日梅」の見事な白梅を観賞しながら、野だてなどを楽しむ。延岡史談会による無料ガイドや合計年齢257歳の名人3人による居合、朗詠、尺八の披露がある。このはなウォークは五ヶ瀬川の松山橋―五ヶ瀬大橋間の河川敷が会場。会場内には約300本の

の「天下第一むか桜（川津桜）」と約100万本の菜の花が咲き誇り、市内の中学生が作製した約3千本の風車も飾る。両岸でステーションイベントや展示、グルメなど多彩なプログラムを計画。2月23日はNHK趣味の園芸で講師を務め、よせうえ王子が愛称の富田英明さんが講演する。会場の両岸を行き来できるよう災害時に使用される自衛隊の応急架設橋で結ぶことになっている。ワイワイ花物語は期間中の夜、城山城跡の桜をライトアップ。千人殺しの石垣へは真北初となる

大型のプロジェクションマッピングも開催し、石垣が崩れるシーンなど迫力ある映像と音楽で夜を演出する。4月6日にはグルメとステージで楽しむ「ワイワイグルメ博」を開く。谷平実行委員長は「延岡は工業都市だけでなく、観光都市としても定着してきた。花物語は市民総力戦のイベント。この期間で10万人の来場者を目指したい」と話した。

介護資格を持つ女性美容師が施設やご自宅などにお伺いします
詳細は気軽にお問い合わせ下さい。



2019.1.17